

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第5回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第5回実証試験では、広島県から提供されたニーズ「通水しながらの水路トンネルの点検」に対して、民間企業（復建調査設計(株)）が製品の紹介を行った後に、現地において試験施工を行いました。今後、広島県において実装に向けた検討が進められます。

■日 時：令和5年7月20日（木）14:00～16:30 ■場 所：広島県安芸郡海田町東海田地内
 ■参加者：20名【施設管理者 広島県水道広域連合企業団：5名/ 民間企業等（復建調査設計(株)、LTM協会）：7名/2社 / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：4名/ 中国地方整備局：4名】

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学名誉教授)

○ニーズ提供者挨拶



広島県水道広域連合企業団
広島水道事務所
次長 益田 康司

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 桑嶋 弘志

○製品の説明、現地での試験施工

製品、技術の説明
復建調査設計(株)
技術名「水路トンネル内面ロボット調査」



現地での試験施工
(調査機器の投入～回収)



調査結果の説明







